

相澤病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

| | |
|---------------------------------|--|
| 研究課題名 (研究番号) | 大腿骨近位部骨折患者における術後早期の移動能力に影響する因子の調査（承認 No. 2025-009 ） |
| 当院の研究責任者 (所属・職名・氏名) | 整形外科リハ科 理学療法士 鳥山貴大 |
| 他の研究機関および各施設の研究責任者 | なし |
| 本研究の目的 | 近年、大腿骨近位部骨折術後の患者さんの移動能力の評価として使用されている Cumulated Ambulation Score (CAS) という評価では、起居移乗、起立着座、歩行の各動作を観察し、実行可能な移動能力を 3 段階の順序尺度で評価することができます。 これまでの評価結果から、CAS は術後早期の大腿骨近位部骨折患者さんにおける短期的な歩行能力を予測する上で優れた評価であることが分かっています。しかし、CAS の値は先行研究ごとに異なっていることが課題です。そこで、本研究では大腿骨近位部骨折患者さんの CAS に影響する因子について調査を行い、CAS の平均値やカットオフ値の相違について検討します。 |
| 調査データ 該当期間 | 2023 年 1 月から 2025 年 2 月までに当院で加療された大腿骨近位部骨折患者さんの情報を調査対象とします |
| 研究の方法 (使用する試料等) | <ul style="list-style-type: none"> ● 対象となる患者さん 上記期間内に大腿骨近位部骨折と診断され、当院で加療された方 ● 利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査項目（血液検査、レントゲン画像など）、日常診療で評価された身体機能、日常生活動作能力を調査する ● 研究期間：2025 年 4 月 30 日～ 2026 年 3 月 31 日 |
| 試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法 | 他の機関への試料・情報の提供はありません |
| 個人情報の取り扱い | 利用する情報から個人の氏名、生年月日、診療情報等、個人を識別できる情報などの個人情報を削除して患者さんを直接特定できる情報は削除致します。また、研究成果は学会・論文等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。 |
| 本研究の資金源 (利益相反) | 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません |
| お問い合わせ先 | 相澤病院 整形外科リハ科 理学療法士 研究責任者 鳥山貴大 Tel : 0263-33-8600(代表) |
| 備考 | |